

眠 ねおん 音

季刊 [Neon] Vol.51 2019 Autumn



木工作家
尾田伊生さんの
工房を訪ねて

眠音

ねおん

Vol.51

季刊 [Neon]

2019 Autumn

撮影 / 藤森祐治

巻頭
目次

02
特集

木の個性を生かす木工作家

尾田伊生さんの 工房を訪ねて

08

『ヨカスタジオリブラ』の中山美幸さんに聞く

睡眠の質を高めるヨガポーズ

CONTENTS



12 「コラム」 ギャツベのはなし
Vol.04 丁寧なしごと

13 「よみがえる記憶」

「MAD et LEN」 POP UP EVENT × 中嶋寿子

14 『石田屋』が提案する

今時の「和」スタイル

18 心を豊かにしてくれる

緑のある暮らし

20 「ねおんの視点」 石黒種麴店

24 編集後記

巻末 石田屋イベントスケジュール





金沢市俵町。戸室山の麓にある里山の集落の一角に佇む工房で、30年以上にも亘って木の家具をつくり続けてきた尾田伊生さん。『石田屋』とも縁のある作り手の一人です。

尾田さんが家具づくりを志すきっかけとなったのは、サハラ砂漠へ向かう大学の卒業旅行で足止めにあつたローマのバルで見たアンティーク家具。安いものを買ってきて、使つて古くなったら、簡単に捨ててしまう高度成長期の日本の使い捨て家具にはない、100年、200年と使いつた歴史を感じさせる家具が持つ持っているエネルギーに強く魅せ、

られたといえます。そして、独りサハラ砂漠で見た夕日。まさに砂の海ともいえる地平線に太陽が沈んでいく様を眺めながら「ああ、俺は一生自由に生きていく！」と決意したのだとか。その後、サラリーマンをして資金を稼ぎ、職業訓練校に通つて機械の使い方を覚え、無垢の家具を手がけていた先輩にアドバイスを受けてつ、現在の工房を建てたのが28歳の頃。当初は子供用のテーブルや椅子をつくつたり、店に家具を置いて販売してもらつたりしながら、生計を立てていったそうです。

尾田さんの家具の魅力は「木の個

特集

木の個性を生かす木工作家

尾田伊生さんの 工房を訪ねて

性を生かす」ということ。同じものをつくるにしても、胡桃は赤い色をしているし、樺も赤い部分が多い。栗は白っぽいし、榎は黄色っぽいものもある。また、育った場所や環境によって、すごく苦しんで育った木もあれば、すくすくと大きくなった木もある。木と対話をしながら、そ

うした個性を見極め、それをどのように使えば生かせるのかを考えていく。もちろん、そのままでは家具にならないので、イメージが見えたところで切ったり、削ったりしながら、余計なものを省いて「自然のカーブ」を残しつつ人工的なあたりに仕上げるのが尾田さんのスタイルです。

尾田伊生 (Oda Yoshio)

1957年、石川県生まれ。学生時代に旅行で訪れたヨーロッパで北欧の家具に触れたことをきっかけに家具職人を志す。その後、職業訓練校で家具づくりを学び、1987年に金沢市俵町の里山に工房を開設。1996年、スウェーデン・カール・マルムステン工芸大学のセミナーに参加。2009年、工房内にギャラリー「ISOLA」(イゾーラ)を併設。

「今から20年前、スウェーデンの学校に通ったのですが、自然のカーブを残すなんて家具ではない、と言われて。日本のようにいろんなかたちの広葉樹が生えていない彼らの文化では、家具は人間が造形でつくるものなんです。そこには日本の文化と大きな違いがあつて。なので、彼らを納得させるために華道や茶道など自然のかたちを生かす和の文化について説明をしたことがあります」

ギャラリーに置かれたテーブルや椅子やスツール、それら一つひとつから醸し出る存在感。ひとつとして同じものはない風合いやデザインは、そんな思いによって生みだされたもの。自分だけの作品という感覚はなく、あくまでも木、自然とともにつくり上げる。その姿勢は仕上げにも貫かれ、化学仕上げを行わず、オイルや漆や蜜蝋などの自然素材での仕上げにこだわっています。

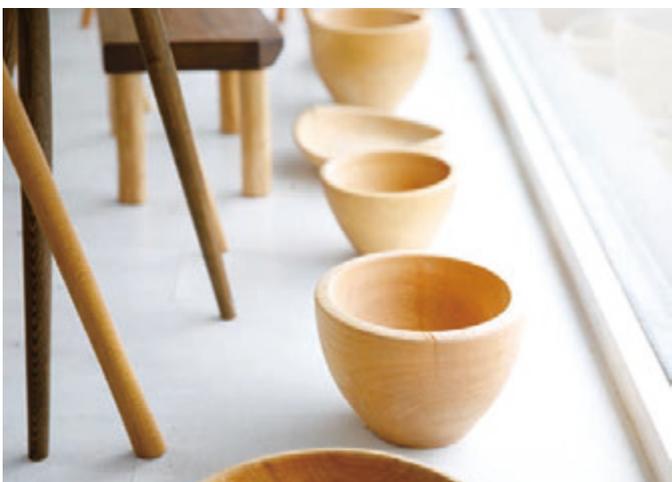
また、尾田さんを語る上で欠かせないのがギャラリー「SOLA」(イゾーラ)のこと。金沢市内を一望する見晴らしの良さに目ぼれた工房の横に構えた、ゲストルーム付きのギャラリーは「触るところがないほど気に入っています」と語る、い



わば理想の場所をかたちにした空間。10年ほど前、工房に出入りしていた建築を志す若者たちに手伝ってもらいながら、ホームセンターで建材を購入し、DIYで施工した建物は、設計のほか、素材や色彩など細部にまでつくり込みが為されており、まるでヨーロッパの片田舎にトリップしたかのように。尾田さんの美的センスがギュッと凝縮されています。

「家具を見に行くとか、なにかを勉強しに行くとか、そういう話ではないのですが、毎年、海外に1〜2ヶ月ほど妻と旅に行くんです。日本人が誰も知らないような田舎町に行つて、飲んで、食べて、現地の人たちと話をして。バーなんかで大騒ぎ。ほんと何もせず、したいことをしているだけなんです。得るものは絶対にありますよね。ゲストルームなんて南仏のイメージでしょ。一時期、南仏が大好きでそこばかり行っていたんで、そういう風に自分の中に入ってくるものがあるんです」

英語をはじめとしてイタリア語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語など、6カ国語ほどを話せる尾田さん。フランス、スペイン、ラオスなど、ヨーロッパやアジアの国々での



自然のかたちを生かす家具づくり。





生き方がそのまま家具に反映する。



長期滞在はまるで、フランス人が仕事に追われる気忙しい日々から離れ、人間らしい生活にリセットする「バカンス」そのもの。人生を楽しむこと、何がほんとうの豊かさなのかを知っている尾田さんであるからこそ、唯一無二の、独特のデザイン、味わいをもった家具を生みだせるのかもしれない。直接的ではないにしろ、ライフスタイル、つまりは生き方そのものが、すべて尾田さんのつくる家具に反映されているのです。

取材に訪れた頃、尾田さんはちょうど、10月2日から『gamadan』で開催する個展に出品する家具を構想している真っ最中。道具が整然と並んだ工房の中で、様々な木を見比べながら「今回はこの塊みたいなものをちょっと使いたいなと思っっているんです。この塊をどう生かすか。なんか変なものができると思いますが(笑)。それから、これなんかも使えないかと。長い枝が広がっていいんですけど、キューブにしちゃったんですよ。これ、完璧なキューブになるとすごく素敵な飾り台になると思うんですよ。けっこう面白いものになりそうでしょ」と続けざまに話す様子はどこか楽しそう。まずは



尾田伊生 木工展「木と暮らす」

開催日時／10月2日(水)～14日(月・祝) 11:00～19:00 休／火曜

会場／石田屋『gamadan／ガマダン』 金沢市高尾3-4-1

問い合わせ／☎076-298-4800(石田屋『gamadan／ガマダン』)

木を見て自分が何を感じるか。感じたいイメージに合わせて、どんな木、どんな色、どんな木目を使うと一番ピッタツとくるか。尾田さんの表現を使うなら、それは仕事というより完全に「遊び」なのだといえます。

一本一本の木が異なる個性をもつように、一つとして同じものがない尾田さんの家具。そうした個性を愛おしく感じながら、丁寧に、ハンドメイドでかたちづくられていく。住む家やスタイルが変わっても、一生手元に置いておきたい愛着を感じる家具とのかけがえのない出会いを求め、個展に足を伸ばしてみませんか。



『ヨガスタジオ リブラ』の中山美幸さんに聞く

睡眠の質を高める ヨガポーズ

忙しい現代人はストレスや疲れとの付き合い方を学ぶことがとても大切。ストレスや疲れが溜まると、呼吸は浅く早くなり、身体もこわばってしまいます。そして、その悪影響を最も受けやすいのが睡眠です。いわばずっとオン状態のまま布団に入るのではなく、心も身体も一旦リセット。ヨガの基本となる鼻から息を吸って鼻から吐く腹式呼吸で吸収を行い、副交感神経が優位になった状態で布団に入ると、酸素の供給量が増えることで血液やリンパの状態が良くなり、免疫機能も高まるといわれています。できれば毎日ベッドに入る前のルーティンにするといいのですが、台所で洗い物をしながら呼吸を整えたり、リビングでTVを見ながらポーズをとるだけでも効果はあるそうです。そこで、今回は『ヨガスタジオ リブラ』の代表・中山美幸さんに、睡眠の質を高めるヨガポーズを教えていただきました。暮らしの中にとり入れて、ぜひ心地よい眠りを手に入れてください！

● 三日月のポーズ ●

胸を大きく開いて手足を伸ばす、インド名で「アンジャーネーヤ・アーサナ」と呼ばれるヨガのポーズ。そけい部を伸ばすことでむくみ改善につながり、美脚に効果的といわれています。また、リンパの流れや血流が改善されるともいわれています。



● ねじりのポーズ ●

座った姿勢で片足を伸ばし、片膝を曲げてねじります。ねじった状態で30秒5呼吸が目安。インナーマッスルに効いて、ウエストまわりがすっきりとします。身体が柔らかい、かたい関係なく、TVを見ながらでも簡単に行うことができます。

● うさぎのポーズ ●

正座の姿勢から頭頂部を床につけて両腕を上げたポーズ。頭頂部のエネルギーポイントである「百会」(ひゃくえ)のツボを刺激して血行を促進し、眼精疲労やそれに伴う頭痛などを緩和します。難しい場合は立ったままでも効果はあります。





● 蓮華のポーズ ●

呼吸法を行うときの姿勢として推奨されている蓮華のポーズ。脚を交差し背筋をまっすぐ伸ばすことで呼吸の出入り、良いエネルギーの流れをスムーズにしてくれます。難しい場合は片方の脚を曲げて太もものにのせるだけでも効果があります。



● ハトのポーズ ●

やや難易度の高いポーズですが、体幹の強化、肩こりや生理痛の緩和、むくみ解消など、様々な効果が期待できるポーズです。背中やウエストの引き締め、ヒップや太もものシェイプアップにも。難しい人は手で足を持ったままでもOKです。

● 体側のばしのポーズ ●

普段伸ばすことのない体側を伸ばすポーズ。胡坐をかいて姿勢を整えてリラックスし、ゆっくりと呼吸しつつ、腕を上げながら体側部を伸ばしていきます。TVを見ながらでもできる簡単なポーズですが意識することで高い効果が得られます。



● 屍のポーズ ●

ヨガの数あるポーズの中でも究極のリラクゼーションポーズといわれているポーズ。全身の力を抜ききって、重力に身を任せるシンプルなものですが、精神的にも肉体的にも大きな効果が期待できます。呼吸に集中することで意識をクリアに。



教えていただいたのは
『ヨガスタジオ リブラ』の中山美幸さん

一人ひとりの心と体の声を大切にしたいオーダーメイドヨガに特化した『ヨガスタジオ リブラ』を主宰。インド政府公認ヨーガインストラクター、日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士修了、プリスペイビーヨーガ マタニティTT修了、2016ミスユニバース石川大会ビューティーキャンプ ヨガ講師。

<https://www.yoga-lib.com>
yogastudio.libra@gmail.com



● 魚のポーズ ●

首や背中筋肉をしっかりほぐすことができるポーズ。呼吸器官の調整などの効果も期待でき、不眠の改善にもつながるといわれています。寝る前の習慣として、魚のポーズを行うことで、リラックスした状態で眠ることができるはずです。

ギャツベのはなし

Vol.04 丁寧なしごと



ギャツベ・ペルシャ絨毯アドバイザー
岡野 徹

ギャツベを初めてご覧になる方によくお話しさせて
いただくことがあります。

ギャツベとは、言ってしまうえば「紡ぐ↓染める↓
織る」という単純な作り方。そんな中でも物によつ
て大きく違いがあるのは、使われる羊毛の質や、各
工程を一つ一つこだわっているかどうかなのです。
だからこそお店選びがとても大切。例えば、原材料
となる羊毛は冬毛か夏毛か。化学染めか草木染め
か。仕上げの工程にどれだけの手間暇をかけている
か。そして、何よりギャツベ作りに心を込めている
か。それらによってクオリティは変わってくるので
す。やっぱり、それだけこだわりのもって作られた
ものは心にぐつとききます。

僕は原産地であるイランに行き、ギャツベを作ら
れる工程を見てきましたが「仕上げの工程だけでこ
んなに大変なの!？」と思うほど、一枚一枚、丁寧に
つくられていました。もちろん、選ぶ基準はその人
次第。靴のまま使う場所なら毛質にこだわる必要は
ないかもしれないし、そのときの思い出として購入
するなら旅行のときに自分で選んでみるのもいいと
思います。

しかし、僕はギャツベをお求めいただいた先にあ
る「心地良さ」や「快適さ」を体感してほしい。だか
らこそ、こだわってつくられたギャツベを伝え続け
ていきたいです。



中嶋寿子プロフィール

神奈川県生まれ。2009年、女子美術大学芸術学部工芸学科・陶コースを卒業。2011年、金沢卯辰山工芸工房修了。現在、石川県白山市にて制作を行う。

—よみがえる記憶—

「MAD et LEN」POP UP EVENT × 中嶋寿子

開催日時／11月8日(金)～11月25日(月) 11:00～19:00
休／火曜

会場／石田屋「gamadan／ガマダン」 金沢市高尾3-4-1

<関連イベント>

「プーレストを読む『失われた時を求めて～無意識的記憶』」

講師：芳野まい(フランス文学研究者／セゾン現代美術館主席研究員・理事)

開催日時／11月9日(土) 16:00開演

問い合わせ／☎076-298-4800(石田屋「gamadan／ガマダン」)

— よみがえる記憶 —

「MAD et LEN」 POP UP EVENT × 中嶋寿子

ルームフレグランス「MAD et LEN」(マドエレン)は、植物から蒸留抽出した香りを手作業でしみ込ませる昔ながらの製法を用い、人工の着色料や香料など、石油成分を使用していません。製品はすべて手作業でつくられ、一つひとつが特別なパフュームです。ブランド名の由来は、マルセル・ブルースト著『失われた時を求めて』の有名なエピソードからきています。主人公が熱い紅茶に浸したマドレーヌを口にしたとき、一気に幸福な想いに満たされ、それが幼い日に供された紅茶とマドレーヌの記憶と結びついているのだと気づきます。味や匂いといった感覚から突然呼び覚まされる記憶。マドエレンの香りは、世界中から厳選した原料をブレンドし調香することで、複雑で心の奥底まで届き、記憶を呼び覚ます香りとなるのです。今回のマドエレンPOP UPイベントでは、『gamadan』で初めてご紹介をするアイテムや香りを豊富に取り揃えます。

また、全国のギャラリーで人気の陶作家・中嶋寿子さんの作品とコラボレーション。中嶋さんはご自身の作品づくりを「言葉にならない言葉を紡ぐよう」、「深い海の底を手探りしてなにかを見付けようとするよう」だと語ります。中嶋さんの作品は、時代や場所さえわからない、深い記憶の奥底から呼び覚まされる記憶を喚起します。

「マドエレンの香り」と「中嶋寿子の陶作品」と共に、ご自身の埋もれた記憶を見つける旅に出かけてみましょう。



『石田屋』が提案する

今時の「和」スタイル

スペース的にベッドが置けなかったり、少しでも部屋を広く使いたいという方に、年齢を問わず、床敷き用の敷き布団の需要があります。

床敷き布団の利点は、部屋を移動できるとのこと。季節に合わせて家中で一番快適な寝室となりうる部屋を選びます。暖かい空気は部屋の上に行き、冷たい空気は部屋の下へ動きます。また、冷気は床から上がってきますので、夏は床敷きが涼しく感じやすいのですが、冬は底冷えがして寒くなります。肌寒さを感じ始める秋から、寝室の場所を変えたり、ベッドに移るなどして「寝る場所」を変えるのも、心地よい眠りを生む秘訣のひとつです。

その際、床敷きでもベッドマットレスと同様に、心地よく眠れる敷き布団の組み合わせを選ぶと良いでしょう。床敷きでも、①身体を冷やさない、②湿気を溜めない、③体重を逃がして正しい寝姿勢にする、というのが心地よい眠りをつくる三原則です。

敷き布団としてベッドスプリングとウッドスプリングをセットに。

床敷き派の人たちから絶大な人気を集める『石田屋』の「畳めるマットレス」こと3点セットは、敷き布団にウールのベッドパッドとウッドスプリングを一緒に使うことで、敷き布団単体で使うより、身体の曲線を自然に受け止めます。また、体重を分散して汗による蒸れを逃がし、リラックスした眠りを誘います。羊毛敷き布団は軽量で扱いやすく、天日干しできない日でも、床から上げておけば湿気を排出してくれます。

「畳めるマットレス」179,000円～

- ・ふとんエレメント
- ・バランスプロファイル敷き布団
- ・ヘッフェルウールベッドパッド (厚手)

※商品はすべて税別です。アイテムにより新税率適用のタイミングは異なります。店頭までお問い合わせください。



トップグレードな寝心地と、
安心の耐久年数で選ぶなら。

さらに快適な寝心地と耐久性を求めるなら、羊毛敷き布団を馬毛敷き布団に、ウールベッドパッドをムートンベッドパッドにするのがおすすめ。弦楽器の弓にも使用されるほど強くしなやかな弾力をもつ馬の尻尾だけを中材にした馬毛敷き布団は、絶妙なクッションと軽さで、通気性が良く、洗えるので長くお使いいただけます。ムートンのベッドパッドと組み合わせることで、ふわりと身体が浮いているような、体重をまったく感じない最高級の寝心地を手にすることができます。

馬毛敷き布団 420,000円～

ムートンベッドパッド

(25mm厚・裏リネン貼り) 350,000円

ふとんエレメント 101,000円





寝具先進国オーストリア製の 唯一無二の馬毛の掛け布団。

新登場の馬のたてがみ掛け布団は、汗による蒸れを発散する力が羽毛布団以上。柔らかなたてがみは適度な保温力があり、年間を通じて快適。羽毛布団の軽さに心もとなさをを感じる人には、安心できる重量感とサラサラ感が大きな魅力です。

馬毛掛け布団 240,000円



「懐かしい!」と思わず声がでる、 『石田屋』の綿わた掛け布団。

大正12年創業の『石田屋』が、令和の時代に新しく作ったのは、創業当時から続けてきた「綿」の布団です。布団職人が丁寧に手入れし仕立てあげました。一般的な夏布団の半分、冬布団の1/4の厚みと軽さで、側生地は『石田屋』オリジナルの綿ガーゼ。綿布団特有の重さがなく、あくまで軽くさらりと身体の上に乗ります。夏の終わりから秋の終わりまでは1枚で、冬に入れば羽毛布団などと併用して。一年中愛用できるソフトタッチの綿わた掛け布団です。

超軽量 本綿 やわらか肌掛けふとん 36,000円

※商品はすべて税別です。アイテムにより新税率適用のタイミングは異なります。店頭までお問い合わせください。



心を豊かにしてくれる 緑のある暮らし



[ユキノシタ]

一つひとつに個性があり、美しさがあることがみえてきます。例え、名も知らぬ草花であったとしても、実は私たちの暮らしを豊かにするチカラに溢れているのです。

あくまでも、気を張らず、気軽な気持ちで。花瓶の種類が揃っていないくても、日常使いの食器やコップ、ブリキの缶やアンティークの瓶など、身近なものを使えばOK。古道具屋さんで、手頃で、気に入ったものを少しずつ集めていけば、花器のバリエーションが徐々に広がり、生ける楽しみも増えていきます。

なお、草花を飾るのにルールなんてありません。自分の好きな草花を摘み、器を選んで、好きな場所に飾りましょう。アレンジができるようになってくれば、花留めを使ったり、籠や入れものに入れて壁に掛けたりするのでもいいですね。

どんな小さなものでも、野に咲く草花は生命力と癒しに溢れています。暮らしの中に取り入れて豊かな気分を手軽に味わってみましょう。

花やグリーンをちょっと飾るだけで、お部屋の雰囲気はがらりと変わります。それだけでなく、なぜか心身ともにリラックスする不思議な現象。

それは「私たちの身体が自然に対応してできている」からだと言われています。植物は、ストレスや不安を取り除き、空気をキレイに、加湿調整を行います。さらには、認知スキルを高め、傷が早く癒されるヒーリング効果も科学的に立証され

ています。暮らしの中に草花を取り入れることは、移りゆく季節を感じ、愛おしむだけでなく、身体が喜ぶことにもつながるのです。

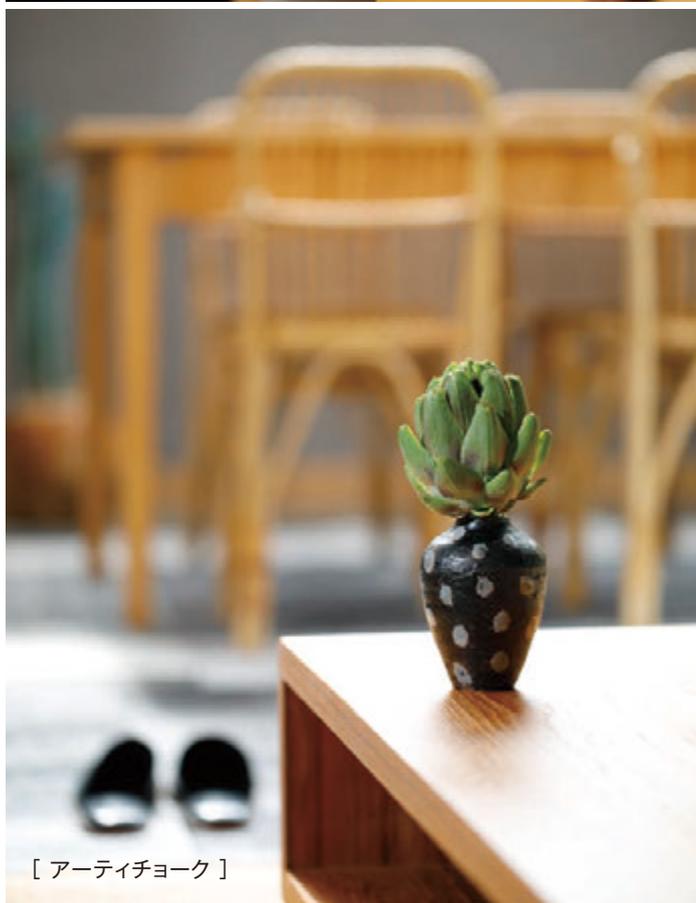
私たちのショップ『*ganadan*』に飾ってある草花のほとんどは庭から摘んだものをスタッフが自由に生けたもの。花屋さんから買ってくるのも良いですが、庭先に少し目を向けたら、散歩の途中に気に留めたりするだけでも、すべての草花、それら



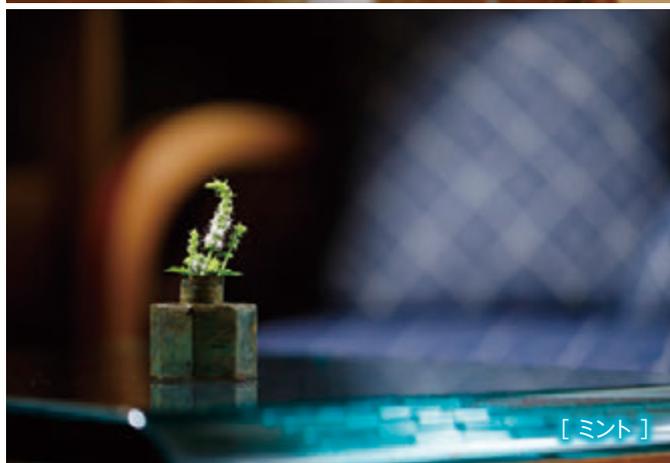
[マツ]



[ニワトコ]



[アーティチョーク]



[ミント]

「ねおんの視点」

石黒種麴店

昔ながらの手づくり法
を守り続けている理由。

味噌、醤油、酢、清酒など、それらすべての製造の元であり、日本食にとって欠かせない麴。「かぶらずし」や「大根ずし」を例に挙げるまでもなく、湿度の高い北陸地方は、古より冬の保存食として発酵食を多く用いるなど、とりわけ麴の食文化が発達してきた土地でもあります。富山県南砺市の福光にある『石黒種麴店』は、北陸で唯一、全国でもわずか十軒余りしかない種麴店。種麴とは、その名の通り、麴づくりの「たね」となるもので、その作り方は門外不出の一子相伝。現在の4代目店主である石黒八郎さんも、種麴をつくる

際には、たった独りで専用の部屋にこもりながら行うそうです。

同店の名が全国に轟く理由となっているのが、江戸・文政年間より家業としてきた（創業は明治28年）昔ながらの手作業による「こうじ蓋製法」を守り続けているという点です。今日ではステンレス製麹機による工場式の麹づくりが主流となっている中、富山県産コシヒカリの1等米を素材として、熟練した職人たちがたっぷりの愛情と手間暇をかけて作りあげます。製麹に必要な温度、水分、酵素。種麹を混ぜた米を2〜3cmの厚みにして麹蓋に入れて、発酵熱を利用した温度32℃、湿度100%に近い「室」の中で一枚一枚木柵に並べて発酵させていく。機械に比べて米を麹蓋に薄く敷くこ

とで空気に触れさせ、ムラなく熱を与えることで中まで発酵を促進し、より状態の良い麹に。発酵の温度を一定にするため、夜中の12時と朝方の4時半に麹蓋を柵から柵へ入れ替えるなど、機械を入れれば必要のない作業をあえて今なお行うのは、

やはりその仕上がりに大きな違いがあるからなのだろうか。一般的に売られている麹に対してアマミラーゼ（糖化酵素）の量が多いことは公的な機関でも証明されており、菌糸がたっぷりついている麹は、麹蓋を逆さにしても落ちることはありません。「だから、うちには機械でつくった麹しか知らない人から苦情の電話

がかかってきたりするんです。お宅の麹に白カビが生えていますって。本当はそれ、胞子なんですけど」

『石里齋種麹店』の麹をアップにして写真を撮ると、その胞子がまるで花のように見えてきます。麹のもう一つの漢字「糶」（この字は和製漢字だそう）には、そういう意味があるのだと改めて思い知らされます。



上／江戸時代の元号が入った麹蓋。当時の加賀藩で味噌作りが相当盛んであった証跡でもあるそう。中／敷き詰められた麹は厳重な温度と湿度管理で発酵させられる。下／倍に薄めて温めれば簡単に昔懐かしい「飲む甘酒」ができあがる「甘酒の素」も販売。アルコールが含まれていないので、子供からお年寄りまで安心して飲むことができます。



先人への敬意と愛情が、
唯一の美味しさを生む。

麴の効能は、なんといっても「第二の脳」といわれる腸内の環境を整え、免疫力を高めるということにあります。「予防接種など打ったことありませんが、インフルエンザにかかったことがありません」と店主。そんな美容や健康に対する関心はますます高まっており、麴や味噌に関する教室を開けば参加者は増える一方、「飲む点滴」と呼ばれる甘酒ブームの際には店頭前列が詰ったそうです。「確かに甘酒って、腸内環境に良いし、血圧やコレステロール値を下げてくれます。ただ、中には健康効果だけ謳って美味しくないものもある

るじゃないですか。しかし、発酵食品は少しずつでも長く続けていたことが原則なので、美味しいってものを提供したいと思っています」
同店の昔ながらの甘酒は、これぞ天然素材の甘みといえる、やさしく、奥深い味わいで、これまでの甘酒のイメージが大きく覆ること必至。砂糖をまったく使わずとも、天然の力だけでこれだけの甘みを引きだせるのかと必ずや驚かされるはずだ。「わたくしどもは昔ながらのやり方を守り続けているだけです」
そんな先人たちへの敬意と愛情が、技と志を引き継ぎ、今ではどこにもない無二の美味しさを生んでいるのかもしれない。



石黒種麴店

富山県南砺市福光新町54

☎0763-52-0128

営／平日9:00~18:00、

土・日・祝10:00~17:00

休／第1・3・5日曜

<http://www.1496tanekouji.com>



上／店頭では味噌、塩麴、甘酒などを販売している。県外からこれらを求めて足を運ぶお客さんも多いとか。中／江戸時代の中期から変わらない店構え。軒先に掲げられた看板が目印です。下／麴職人の心意気を現代に伝える半纏。

『ガマダンダイニング』では
『石黒種麴店』の麴を使っています！



「辛くないスパイスカレー」ミニサラダ付 1,500円(税別)
11:00~18:00(L.O.)



【前菜五種盛り】

『石黒種麴店』の麴をはじめ、酢、しょうゆ、味噌など、近年関心が高まっている発酵調味料により、いずれも食材をじっくりと熟成させ、旨みを膨らませた料理を提供している『ガマダンダイニング』。めぐる季節の恵みを味わうことで、身体を調べ、心を満たす。そんなコンセプトで日々お客様をお迎え。地元産の食材や安心できる調味料を用いて、美味しい旬の食材をメインにした食事を提供しています。



【お膳】

「発酵ランチ めぐる」2,000円(税別) 11:00~15:00(L.O.)
※写真はイメージ。季節によって内容は異なります。



『ガマダンダイニング』

金沢市高尾3-4-1 ☎076-298-7800

営/11:00~19:00(L.O.18:00)

※ランチタイムは11:00~15:00(L.O.)で

「発酵ランチ めぐる」ほかフードメニューあり

※ランチ以外のフードメニューは11:00~19:00(L.O.18:00)

※カフェのみのご利用は15:00~19:00(L.O.18:00)

休/火曜

【その他のメニュー】

二段むし蒸籠(蒸しパン、肉または魚と野菜)
1,500円、季節のスープ(自家製プチパンと
ミニサラダ付)1,200円

※その他、カフェメニューやドリンクメニュー
を取り揃えております。

※価格はすべて税別です。

〈 編集後記 〉

若いころから華やかなものにばかり目を向けてきたが、やがて還暦過ぎて少しは哀愁漂う秋の夕暮れ時に心奪われる。「見渡せば花も紅葉もなかりけり 浦の苫屋の秋の夕暮」(藤原定家)

田中和昭

石黒さんの板麴で甘酒を作り、夏の室温の高さを利用してパン種を仕込む。ふつふつと膨らみ蒸りを放つ菌たちにゆったりと付き合う時間。そんな発酵生活を楽しんでいる。

八木勢津子

人にはそれぞれ優位に働く五感があり、表現や感じ方には偏りがある。それでも僕は、五感で感じたものは五感で伝えたい。伝えた人の想像力が掻き立てられる伝え方をしたいと思う。

岡野 徹

ガマダンには庭が綺麗です。すくすく、のびのびと気持ちよく育った植物は庭で見るのが一番! と思いきや、庭からとってきた植物はガマダン店内でもイキイキ、キラキラしています。

大道めぐみ

老舗麴店の先代の番頭は「おやっさんに教えてもらった通りにやっただけ」と名を出すことを嫌い、取材を一切受けなかったとか。その職人の、謙虚さと、矜持に心底シビれます。

愛山達也

縁のある人とはいつか繋がる事になっているようだ。昔の職場で、前の机に座っていた先輩が結婚した。お相手は家具作家だという。それから約20年後、犀川店のOPENイベントを尾田伊生さんをお願いした。その奥様がなんとその職場の先輩だったわけで、ご縁って不思議なものだと思ってしまう。

田中佳美



LINE@
石田屋
LINE@公式アカウント

LINE@
始めました!



『石田屋』のLINE@公式アカウントが開設しました。新商品やキャンペーン、イベントの情報など、楽しい情報をお届けしていきますので、左のQRコードからお友だち登録をお願いします!

石田屋イベントスケジュール

gamadan / ガマダン

美人になる着付け

9月11日(水)・10月16日(水)・11月27日(水)

天然スキンケアアグリベル無料体験会

9月22日(日)・11月24日(日)

尾田伊生 木工展「木と暮らす」

10月2日(水)～14日(月・祝)

NUNO 2020春夏服受注会

10月18日(金)～20日(日)

ニュージーランドウールYarn メリノウェアPOP UP SHOP

10月18日(金)～20日(日)

—よみがえる記憶—

『MAD et LEN』POP UP EVENT × 中嶋寿子

11月8日(金)～11月25日(月)

<関連イベント>

「プルーストを読む『失われた時を求めて～無意識的記憶』」

講師:芳野まい(フランス文学研究者)

／セゾン現代美術館主席研究員・理事)

11月9日(土)16:00開演

gamadan LUNCH & SPECIAL 睡眠診断

11:00～15:00 一日限定1組

犀川店

アトリエマニスのお洋服展

9月7日(土)～18日(水)

天然スキンケアアグリベル無料体験会

9月23日(月・祝)・11月25日(月)

アツコエステ「デトックスorロミロミ」

9月28日(土)・29日(日)

足型健康チェック アーチサポートインソール無料体験

10月5日(土)・6日(日)

リラックスエステ「頭のコリ&脳の疲れを改善」

10月20日(日)・21日(月)

真木テキスタイルスタジオ展

11月2日(土)～10日(日)

和座店

リラックスエステ「頭のコリ&脳の疲れを改善」

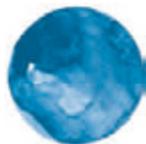
9月18日(水)・19日(木)

天然スキンケアアグリベル無料体験会

9月21日(土)・11月23日(土・祝)

足型健康チェック アーチサポートインソール無料体験

10月5日(土)・6日(日)



ISHITAYA

gamadan / ガマダン

金沢市高尾3-4-1
☎076-298-4800
11:00～19:00
火曜定休

犀川店

金沢市清川町1-1
☎076-280-4800
11:00～19:00
火曜定休

和座店

能美市大成町リ56
☎0761-55-3737
10:00～18:00
不定休

眠音

ねおん
Vol.51
Autumn

2019年9月1日発行 編集発行人／田中佳美 発行／(株)石田屋 〒921-8152 金沢市高尾3-4-1 ☎076-298-4800
本書の全部または一部を無断で複写することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。 © Ishitaya Co., Ltd. <http://www.ishitaya.com> Printed in Japan

定価300円

税別



ISHITAYA

www.ishitaya.com